

岡山大学耐災安全・安心センター主催 公開講座

原子力防災の現状と 安全・安心を考える

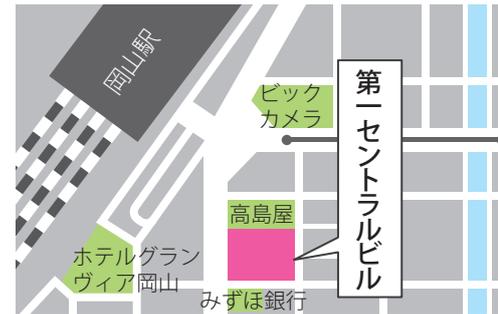
東京電力福島第一原子力発電所事故から5年、原子力防災について身近な問題として多くの関心が寄せられています。この原子力防災の現状と安全・安心を考えて戴くため、本公開講座では最新の科学情報や社会動向などに基づきわかり易く解説し疑問にお応えします。

平成 28 年

3/5 土 開場 12:40
13:00-16:30

第一セントラルビル 9 階大ホール
(岡山駅東口より徒歩 3 分)

参加費：無料 どなたでもご参加いただけます



	司会	岡山大学大学院保健学研究科 助教 片岡隆浩
13:00	あいさつ	岡山大学耐災安全・安心センター センター長 鈴木和彦
13:05	講演①	福島の実況と復興を知る 日本原子力学会 理事・電力中央研究所 名誉研究アドバイザー 井上正 「福島の除染の実況と復興に向けて」と題して、学会・福島県アドバイザーの立場から最新の状況や関連情報などを踏まえわかり易く解説します。
14:05	講演②	原子力防災の実況を確かめる (1) 中国電力株式会社電源事業本部 (原子力管理) 担当部長 山本直樹 特に中国電力島根原子力発電所における最新の防災対策について、実況や関連情報などを踏まえわかり易く解説します。
14:45	休憩	
14:55	講演③	原子力防災の実況を確かめる (2) 日本原子力研究開発機構人形峠環境技術センター研究開発推進課 課長 石森有 特に人形峠環境技術センターにおける防災対策について、実況などをわかり易く説明するとともに、研究機関の立場から関連情報なども踏まえ解説します。
15:35	講演④	原子力災害による影響とその教訓を考える 岡山大学大学院保健学研究科 教授 山岡聖典 東京電力福島第一原子力発電所などにおける事故による身体的・精神的な健康影響や社会的影響さらにはその教訓について、関連情報なども含めわかり易く解説します。
16:15	まとめ	岡山大学大学院保健学研究科 教授 山岡聖典